

11 ADSL



1999年、日本での商用サービスが開始されたADSLは従来のサービスとは接続形態が大きく異なることから、新たな制度の整備が望まれていました。そこで、次のようなルールの整備が進められました。

まず、2000年9月の総務省令改正により、加入者回線が細分化されたことで、ADSLを利用する事業者がNTTに対し、サービスに関係のない接続料を支払う必要がなくなりました。また、あわせてコロケーションのルールが整備され、ADSLを利用する事業者がNTTの局舎内に接続のための設備を設置する手続が明確になりました。

2001年の改正では、ADSLモデムの売切り制が導入され、利用者が市販のモデムを購入し、自ら設置できるようになっています。

これらの制度の整備、ルールの整備などにより、日本国内のADSLサービスの料金は世界最低水準となりました(図1)。

ADSLサービスの加入者は、ここ2年で500倍以上に増加しています(図2)。

図1
ADSLサービスの料金は世界最低水準に(単位:円)

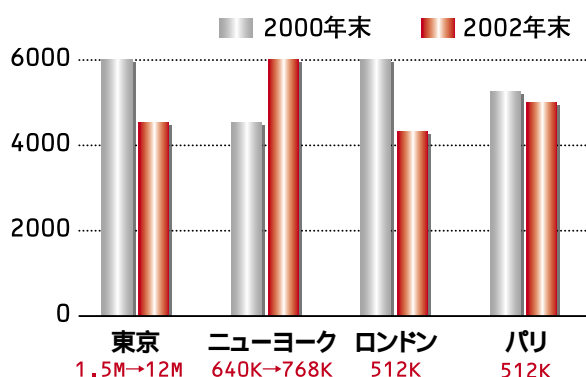


図2
ADSLサービス加入者数はこの2年で500倍以上に(単位:万件)

